

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：）
		学年	学期			
専門科目	450	3年	後期	臨床検査学科	自由	医学検査 Medical Technol
担当教員						
臨床検査学科全教員						
関連するDPキーワード（看護学科）						
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。					
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。					
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を					
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を					
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる					
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。					
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。					
関連するDPキーワード（臨床検査学科）						
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊					
○	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。					
○	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。					
○	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力					
○	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。					
○	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。					
授業目的						

臨床検査技師として必要な医学検査に関係する研究の最新のトピックスについて学び、そのテーマについて利便性の高い研究手法や研究倫理について理解する。また、医療従事者として生涯学習およびキャリア形成の必要性を理解する。

到達目標（授業目標）

- ①各分野を担当する教員の研究内容や研究手法、研究倫理などが理解でき、説明できる。
- ②各分野のトピックスでの、そのテーマについて科学論文の読み方、書き方、文献検索法などの研究手法が理解できる。
- ③医療従事者として生涯学習およびキャリア形成の必要性が理解でき、説明できる。

授業計画（項目・内容と方法・担当者）

1回	臨床血液分野：臨床血液領域でのトピックスについて講義する。(担当:竹内一人)
2回	臨床血液分野：臨床血液領域における形態学的検査、遺伝子解析の有用性について講義する。(担当:)
3回	微生物検査分野：微生物検査分野のトピックスについて講義する。(担当:美間健彦)
4回	分子細胞生物学分野、臨床化学分野：細胞核の構造と機能解析、細胞生物学のトピックスについて講義する。(担当:)
5回	分子細胞生物学分野、臨床化学分野：骨代謝異常の遺伝子・生化学分析、糖尿病代謝異常の解析について講義する。(担当:高田智世)、化学分析の臨床および企業応用について講義する。(担当:)
6回	病理細胞組織検査：病理組織細胞検査分野のトピックスについて講義する。(担当:則松良明)
7回	一般検査：代謝異常と尿検査その他について講義する。(担当:細川翔)
8回	免疫血清分野：臨床応用を目指した癌・感染症の免疫学研究について講義する。(担当:山田武司)
9回	免疫血清分野：未定(担当:田野ゆづき)、微生物検査分野：微生物学分野の基礎研究について講義する。(担当:)
10回	生理機能検査：細胞の情報伝達や機能調節と病態について講義する。(担当:山口文徳)、脳機能と遺伝子(担当:)
11回	生理機能検査：電気生理的手法による生体機能研究について講義する。(担当:岡村法宜)
12回	臨床病態分野：小児がん治療の進歩によって問題となってきた長期的な問題(晩期合併症)にまつわる病態について講義する。(担当:石田 也寸志)
13回	特別講演
14回	臨床検査、臨床検査技師のさらなる発展(1) (教育協力者)
15回	臨床検査、臨床検査技師のさらなる発展(2) (教育協力者)

16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

受講態度(20%)、レポート(80%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	適宜資料を配布する。
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

関連科目

前科目		全ての専門基礎科目		全ての専門科目			
後科目							

実務家教員

備考

医学検査のトピックスについての内容の詳細については後期授業開始時に追加して提示す。

科学論文の読み方、書き方、文献検索法などについて学び、その実践法についても理解

理解でき、説明できる。

(担当: 祇園由佳)

て講義する。(担当: 檜枝美紀)

遺伝子、臨床化学検査分野のトピックスに
矢野弘子)

する。(担当: 藤井萌)

fMRI研究について講義する。(担当: 濱智)

トピックスについて講義する。

る。講義の順番は変更する場合がある。